

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教育研修推進事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	01	04	02	03
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	佐藤 智子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校全教職員	意図	教育内容の質的向上
事業内容	指導技術や専門的知識を学ぶ教職員研修の充実を図ることにより教育内容の資的向上を図る。様々な教育活動の運営をサポートする。			
事業開始から現在までの状況変化	各種研修を通し、指導内容の改善・向上が図られ、教育力の維持向上に繋がっている。若手教職員の増加に伴い、研修の必要性が増している。児童生徒の増加により、活動内容や回数が増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 千葉県吹奏楽コンクール参加校	15	16	16	校	→→	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	吹奏楽コンクールへの参加、作品展や様々な研修会実施にあたり、運営面で援助を図ることにより、多岐に渡る教育活動を実施する事ができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 千葉県吹奏楽コンクールには中学校9校小学校7校参加。本選出場を目指日々練習に取り組んだ。管楽合奏コンテスト全国大会に中学校1校出場し、優秀賞を獲得した。 各種研修会に目的に応じた講師を招聘し、教職員の指導技術の維持向上を図っている。 生徒指導関連・作品展等、様々な教育活動の場で、運営のサポートを行った。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		886,000	923,000	961,600			
事業費(b)(円)		886,000	923,000	961,600			
うち一般財源		886,000	923,000	961,600			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	研修会のねらいに応じた内容の検討を進める。展覧会やコンクールへの参加について、学習計画への位置づけを進める。	③取組の課題	若手教員が増加しているため、指導力の向上につながる研修事業の在り方、様々な教育活動へのサポート方法及び内容の検討を進める必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	市研修会の内容を検討し、運営に生かした。学習計画への位置づけを進め、展覧会やコンクールの参加を通して、教育活動の充実を図った。	④今後の改善計画	教職経験や学校内の立場・役割に応じた研修会の内容を検討し、教職員の指導力・専門性を高める。